

■After 建築名称 下段:英語名		旧猪鹿倉家住宅 Former Ikalura House			URL		
建築用途	大分類 住居		小分類 住宅				
改修設計者	鰯坂建築研究所 鰯坂徹		URL				
所在地	鹿児島県南さつま市加世田武田		Google Map				
改修年	2018.7-2022.5	元建物の竣工年	1890年頃	After	東側外観 左:既存木製建具を複層ガラスに交換、右側:腰窓を掃出引戸に復元		
建築規模	207.95m ²			撮影者 提供者	鰯坂徹		
掲載書誌				概要 after	昭和期の増築部分を撤去し保存活用計画を作成し、オリジナルの素材・空間に戻すBeforeBeforeの方針により機能更新を目指した		
賞・選定	加世田麓重要伝統的建造物群保存地区特定物件				BeforeBeforeの方針により機能更新を目指した		
資料・その他	旧猪鹿倉家住宅再生(PDF資料)		URL				
■Before 建築名称	猪鹿倉兼文邸			概要 before	薩摩藩の目付で政府の地方官史だった猪鹿倉兼文氏が明治20年頃に建てた住宅。L型平面だったが、なかえを昭和30年代に解体。		
建築用途	大分類 住居	小分類 住宅					
■写真	改修前の東側外観 Before	改修後のコザ 昭和期の改修(増築・腰窓化)を復元再生 After			改修後の南側外観 左手扉は吉阪隆正の解体された海星学園のもの		
							
撮影者 提供者	鰯坂徹	撮影者 提供者	鰯坂徹	撮影者 提供者	鰯坂徹		
■リノベーション内容	キーワード 外観保存	内容 薩摩藩の目付で、江戸で学び教鞭をとった後、政府の地方官史だった猪鹿倉兼文(けんぶん)氏が明治20年頃に建てた住宅で、藩政期の松田家住宅跡に旧邸の部材を活用し普請された。20年ほど空家となり蟻害が進行していた。住居として活用するため、保存活用計画を作成し、保存部分、保存部分、その他部分と材料の基準を定めて再生を実施した。昭和期の増築部分・後補材を解体しながら、痕跡を辿り旧態に近づけた。《Before After》というより、より以前に戻す《Before Before》を原則として補修再生を行った。四周の縁側の床・外部建具の断熱性能を向上させ居住性を確保し、壁・天井は蟻害部分を除き旧来の材料をそのまま利用している。水周りは、コンクリートブロックを立上げてガラ等で埋めた湿式工法で造られていたので、すべてブロック立上げを撤去して、乾式の水周りに改修した。ほぼ真壁だが一部の大壁は、セルロースファイバーで断熱、大部分のガラスを複層ガラス化した。電気・給排水はすべて床下を活用し、床置エアコンを設置している。					
■備考	当初L型の平面形から、なかえ(台所部分)を昭和30年代に撤去し整形な約60坪の平屋の住宅。主屋以外に馬小屋や蔵、付属屋があったが現存しない。2019年に国の重要伝統的建造物群保存地区となり、主屋、腕木門、石垣、石橋、洗い場、井戸、水神、屋敷神、生垣、庭園が特定物件となり、現状変更申請を行い再生を実施						
■作成者 氏名／所属	鰯坂建築研究所 鰯坂徹	作成協力		整理番号	No227		